



受付第03A3302号  
受付日：平成16年 2月20日

## 品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成16年 3月31日

財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 勝野中幸  
埼玉県草加市稲荷1丁目21番20号



|                      |  |
|----------------------|--|
| 試験名称                 | 筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験   |
| 依頼者                  | 会社名：株式会社 カ ナ イ<br>所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号   |
| 試験体<br>(依頼者<br>提出資料) | 1. 接合金物<br>名称：木造建築用筋かい金物<br>商品名：ニュー皿ビス筋かいボックスn<br>用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物<br>寸法：厚さ2.3mmの鋼板を加工したもの（36×120×120mm, 図-3参照）<br>材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)<br>筋かいとの取合い：金物の外側に筋かいを設置（外使い）し、筋かいと軸組の外面が一致するように取り付ける。<br>取付方法：スリットのある面を横架材側に設置<br>2. 接合具<br>3 #角ビット皿スクリュー：φ5.5×45mm（ねじ部の長さ39mm），谷の径；3.3mm<br>ねじ山のピッチ；3.1mm，ねじ先の形状；とがり先<br>柱及び横架材側4本，筋かい側7本使用<br>材質：SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。<br>C (0.18~0.23%)，Si (0.10%以下)，Mn (0.70~1.00%)<br>P (0.030%以下)，S (0.035%以下)，Al (0.02%以上)<br>表面処理：ダクロタイズド処理<br>3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m）<br>梁：樹種；べいまつ，寸法；105×180mm<br>土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm<br>柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm<br>間柱：樹種；すぎ，寸法；45×105mm<br>筋かい：樹種；べいつが，寸法；45×90mm<br>4. 試験体数 3体<br>参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法） |
| 試験方法                 | 木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。   |
| 試験結果                 | 1mあたりの基準せん断耐力：3.6kN，終局変形角 $\gamma_u$ の平均値：1/17rad<br>耐力算定基礎資料等：表-2～表-4<br>荷重-せん断変位包絡線の比較：図-4<br>荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-5～図-11<br>破壊状況：写真-1～写真-4  |
| 備考                   | 当該試験結果は，平成12年告示第1460号の一の二に定める<br>45×90mm以上の木材に取付ける筋かいプレートに該当する。  |
| 試験期間                 | 平成16年 2月26日 ~ 27日  |
| 担当者                  | 構造グループ 試験監督者 橋本敏男<br>試験責任者 高橋大祐<br>試験実施者 守屋嘉晃  |
| 試験場所                 | 中央試験所  |